			主時制		
		未来時制	現在時制	過去時制	完了時制
	be動詞の形	1. will be(原型) ← willは助動詞 2. be(主語の活用)going to be	is,am, are	was, were	・be動詞の過去分詞形が have(has) been ・have, hasなら現在完了冊 →この列最下段(★3)参照
be動詞	平叙文 否定文 疑問文	It will(is going to) be fine tommorow. It will not be fine tommorow. Will it be fine tommorow? It is going to be fine tommorow.	平)・She is fine. ・I am fine. ・You are fine.  ・	平) *She was fine. *I was fine. *You were fine.	平) She has been to Canada twice.(彼女はカナダ! 否1) She has not been to Canada.(彼女はカナダ! 否2) She has never been to Canada.(彼女はカナダ!
		It is not going to be fine tommorow. Is it going to be fine tommorow?	疑)·Is she fine? ·Are you fine?	疑)·Was she fine? ·Were you fine?	疑) Has she ever been to Canada?(彼女はカナダ
一般詞	一般動詞の形	1. will 原型動詞 ← willは助動詞 2. be(主語の活用) going to 原型動詞 補力の不定詞 そんなものと聞いてください。 willを使った場合は、助動詞の構文なので(canと同じ)、必ず動詞は原型に! 否定はwill not, 疑問文はWill 主語(S)という文頭になる。↓	・原型 (主語が 一人称、二人称、複数) ・三人称単数形(三単元) 三単現動詞の作り方 ・通常は原形にを付ける。 like→likes, sing→sings ・s, sh, ch, o, x で終わる語は es を付ける。 catch→catchse, pass→passes.go→goes finish→finishes, wish→wishes, fix→fixes ・「子音字+y」で終わる語はをに変えて esを付ける。study→studies ・不規則 have→has	・「短母音+子音字」の語は子音字を重ねてedを付ける stop→stopped・不規則はしっかり覚える。	have(has) 動詞の過去分詞形 過去分詞形動詞の作り方 ・原則は過去形と同じ形。 ・不規則あり、要暗記 ・不規則はしっかり覚: ・この時のhaveやhasは助動詞。「持せん。この助動詞に続く動詞は原型・never, everは完了形で使う副詞とeverは平叙文と疑問文で使われ、「す。neverはnotと同じですが、「(今まがあります。
	平叙文 否定文 疑問文	You will study English tommorow. You will not study English tommorow. Will you study English tommorow? You are going to study English tommorow. You are not going to study English tommorow. Are you going to study English tommorow?	- She likes him She does not like him Does she like him? - You like me You do not like me Do you like me? - Do you like me?	*She liked him. *She did not like him. *Did she like him?  *You like me. *You did not like me. *Did you like me?  *現在形で、一般動詞の否定文と疑問文に使われる助動詞のdoとdoesが、過去形になるとdidで統一されます。	平) I have climbed Mt. Fuji two times.(私は富 ・ 古定文はbe動詞の後にnoを入れる。 否1) I have not climbed Mt. Fuji.(私は富士山 石2) I have never climbed Mt. Fuji.(私は富士 ・ 最間文はbe動詞(V)+主語(S)と入替る。 疑) Have you ever climbed Mt. Fuji? (あなたは今までに富士山に登ったことある
		1.単純未来 ・時間が経てば自然にそうなる事を表す。 ・話手の推測を表す。 I will be fifteen years old next year (私は来年15歳になる。)	He comes here. (彼が来る。)	1. 過去の動作・状態 (副詞句を伴うことが多い。) He came home about eleven last night. (昨夜、彼は11時に帰宅した。)	1. 結果 「~してしまった。」「~してしまい、今は…だ。」 He have gone to America. (彼はアメリカへ行つ → He went to America.+ He is not here. と分解
		He will be in time for the bus. (彼はそのバスに間に合うでしょう。)	2. 現在の習慣的行為 She gose to church on Sunday. (彼女は日曜日に教会へ行きます。)	<ol> <li>過去の習慣的行為         <ul> <li>副詞句を伴うことが多い。</li> </ul> </li> <li>The airplane flew every Sunday at that time.</li> <li>(その当時、その飛行機は、毎週日曜日に飛んでいた。)</li> </ol>	<ol> <li>(変化の)完了</li> <li>(~したところである。」 just already yetがある:</li> <li>I have just finished my homework.</li> <li>(私はちょうど宿題を終えたところです。)</li> </ol>
		2.意志未来 I will do my best. (最善を尽くすつもりです。)	3. 真理・事実(慣用句)を表す。 Two and four are six. (2足す4は6です。)	・used to~ I used to do fishing. (私はよく釣りをしたもの だ。) ・would often~ He would often come to see me.	3. 経験 「~したことがある。」 ever, never, often, once
		I am going to learn English. (私は英語を学ぶつもりです。)	4.未来を表す。 ・往来発着を表す動詞に未来の副詞句がついた場合		I have climbed Mt. Fuji once(twice). (私は一度 I have never climbed Mt. Fuji. (私は富士山に: I have been to Hokkaido.(私は北海道に行った: have been to「行ったことがある。」熟語と思うへ
=14		未来を表す他の表現	She leaves for Paris tommorow. (彼女は明日パリに発ちます。)	≈ Have you ever seen a wolf?	4. 継続
説明とポイント		・be about to do(〜) ちょうど、〜しようとしている。 I am about to go out, but I can't. (私は出かけようとしましますが、できません。)	往;go、来;come、発;start、着;arive  ·if~(もし~なら), when~(~する時), till~(~まで)で導かれる文節内	(今までの狼を見たことがありますか。) ・after~(~の後に)、beforer~(~の前に)の節内でのみ。 After I finished reading the book, I returned it to him.	Father has been in Kyushu for two weeks.(父は have been in「ずっといる。」熟語と思うべし I have known him since he was a child.(私は彼
		・be to do(~) ~することになっている。 You are to be honest.	Please tell him my address when you see him. (彼と会ったら、私の住所を教えてく ださい。		since~(~以来)、for~(~の間)などの副詞句 注意点 •yesterday, last (night year), (three years) ago
		・往来発着を表す動詞と未来の副詞 句を伴って未来を表す。 現在形(★1)、進行形(★2)参照	If you remain getting wet with rainyou will catch a cold. (雨で濡れたままでいたら、あなたは風邪を引きますよ。)		す副詞句を完了時制で使用できない。 ・疑問副詞whenの文では、完了時制を使用しない。 ・ ・ ・ ・ はいまれている。 ・ は
					**this(morning, year)は幅広い時間を表し、現在も使える。でも、口語では圧倒的に過去形が使・過去分詞になる動詞が自動詞(finish, come, g詞にすることもある。  Spring is come. (春が来た。) The moon is risen.(月が昇った。) *have gotはhaveの意味(口語のみ)
					完了形は文章の表す行為に時間の幅があるこを表せない。文の基準の時間は主時制(現在、制に完了形を併用し、幅を持たせる以下の複合・現在完了形では、have(has)+動詞の過去分詞・過去完了形では、had +動詞の過去分詞形・未来完了形では、will have 動詞の過去分詞形

### 使行形    変動態(受け身);能動態   を動きなら過去完了形と言う。   なし (★4)参照   -	
<ul> <li>ま、hadなら過去完了形と言う。</li> <li>こ2回行ったことがある。)</li> <li>こで行ったことがない。)</li> <li>に一度も行ったことがない。)</li> <li>に行ったことがあるかな?)</li> <li>be 動詞 現在分詞(~ing)</li> <li>・動詞の原形にそのまま ing 〈原則〉 play → playing</li> <li>・愛音しない。 で終わる語(燃字)は e を取って + ing make → making use → using leave → leaving</li></ul>	
に行ったことがない。) に行ったことがあるかな?)  be動詞 現在分詞(~ing) ・動詞の原形にそのまま ing 〈原則〉 play → playing ・発音しない。 で終わる語(黙字)は をを取って + ing make → making use → using leave → leaving ・短母音 + 子音で終わる語は最後の子音を重ねてからing run → running swim → swimming ・ ie で終わる語はよ後の子音を重ねてからing run → running swim → swimming ・ ie で終わる語はよりにうさいでしょう。 今までに」と訳せばうまく訳せま までに)一度も~ない」という強調  ・ ie で終わる語は、ying に変わる die → dying, lie → lying   中)You are playing the piano.(あなたはピアノを弾いている。) (注) You play the piano.(あなたはピアノを弾いているのかが曖昧です。) ・ 力を文はか動詞の後につばそんれる。 を る) You are not playing the piano.(あなたはピアノを弾いていない。) ・ 大き文はか動詞の後につばそんれる。 を 多) You are not playing the piano.(あなたはピアノを弾いていない。) ・ 大き文はか動詞の後につばそんれる。 を 多) Are you playing the piano.(あなたはピアノを弾いていない。) ・ 大き文はか動詞の後につばそんれる。 を ※別 Ner you playing the piano?  ※別 Ner you playing the piano?  ※別 Ner you playing the piano?	
に一度も行ったことがあるかな?)  be動詞 現在分詞(~ing) ・動詞の原形にそのまま ing 〈原則〉 play → playing ・発音しない e で終わる語(黙字)は e を取って+ing make → making use → using leave → leaving ・短母音 + 子音で終わる話は最後の子音を重ねてからing ・っきでに」と訳せばうまく訳せま までに)一度も~ない」という強調  *  *  *  *  *  *  *  *  *  *  *  *  *	
be動詞 現在分詞(~ing)  ・動詞の原形にそのまま ing 〈原則〉 play → playing ・発音しない。で終わる語(黙字)は e を取って + ing make → making use → using leave → leaving ・短母音 + 子音で終わる語は最後の子音を重ねてからing 「ではなべ過去分詞。 言っても過言ではないでしょう。 今までに」と訳せばうまく訳せま までに)一度も~ない」という強調  「工山に2回登ったことがある。) はこ登ったことがある。) はこ登ったことがない。) ・山に一度も登ったことがない。) ・地間では意味が通じま ・短母音 + 子音で終わる語は最後の子音を重ねてからing 「で終わる語は ¬ying に変わる die → dying, lie → lying, tie → tying  「注)You play the piano.(あなたはピアノを弾いている。) ・現在形では、習慣的に弾いている人か、今弾いているのかが曖昧です。) ・本音文はbe動詞の後にnotを入れる。 否)You are not playing the piano.(あなたはピアノを弾いていない。) ・東田文はbe動詞の後にnotを入れる。 否)You are not playing the piano.(あなたはピアノを弾いていない。) ・東田文はbe動詞の後にnotを入れる。 を ② You are not playing the piano.(あなたはピアノを弾いていない。) ・東田文はbe動詞の後にnotを入れる。 を ② You are not playing the piano.(あなたはピアノを弾いていない。) ・東田文はbe動詞の後にnotを入れる。 を ② You are not playing the piano.(あなたはピアノを弾いていない。) ・東田文はbe動詞の後にnotを入れる。 を ② You are not playing the piano.(あなたはピアノを弾いていない。) ・東田文はbe動詞の後にnotを入れる。 を ② You are not playing the piano.(あなたはピアノを弾いていない。) ・東田文はbe動詞の後にnotを入れる。 を ② You are not playing the piano.(あなたはピアノを弾いていない。) ・東田文はbe動詞の後にnotを入れる。 ② You are not playing the piano.(あなたはピアノを弾いているのかが曖昧です。) ・「その写真は彼によって撮影されない。)	
*動詞の原形にそのまま ing 〈原則〉 play → playing ・発音しない。で終わる語(黙字)は e を取って+ing make → making use → using leave → leaving ・短母音+子音で終わる語は最後の子音を重ねてからing ・短母音+子音で終わる語は最後の子音を重ねてからing ・ロー度も~ない」という強調    *  *  *  *  *  *  *  *  *  *  *  *	
(注) You play the piano.(あなたはピアノを弾く。) 現在形では、習慣的に弾いている人か、今弾いているのかが曖昧です。) 本音定文はbe動詞の後にnotを入れる。 本音文はbe動詞の後にnotを入れる。 否) You are not playing the piano.(あなたはピアノを弾いていない。)  本音文はbe動詞の状にのなを入れる。 不言) You are not playing the piano.(あなたはピアノを弾いていない。)  本音文はbe動詞の(ドロロを入れる。 不言) The picture is not taken by him. (その写真は彼によっては撮影されない。)  本語はたっては撮影されない。)  本語はたいでは、習慣的に強いていない。)  を関すなはbe動詞の(ドロロを入れる。 を言うないない。)  を言うないない。)  を関すないない。)  を記述したいては撮影される。)	
\$?)	
・現在進行形 is (am, are) ~ ing ~ しているところだ。 Father is walking in the yard. (父は庭を歩いています。)  Cしまった。(ここにいない。))  Prote る。  ・過去進行形 I was reading the book about gesture last night .  Everybody likes her. (みんな彼女が好きです。)	
私は昨夜、ジェスチャーに関する本を読んでいました。 She is liked by everybody. (彼女はみんなに好かれ ・ 進行形にできない動詞 (状態動詞の受動態の訳し方) She b動詞 ★ 4 、 have(持っている)、	
, beforeを伴うことが多い。 (注) The letter is written in English.	
に一度)富士山に登ったことがある。 造行形にできる。 整ったことが一度もない。) 事がある。)  現在進行形・過去進行形・未来進行形 進行形も、基本的に時間の幅がある動作の動詞に使われ、完了形と同じで時制を指 定するものではない。よって、進行形も時制の指定は主幹時制によります。	うわけで 場面という
また、進行形にできない動詞で、継続的な意味合いがある場合は、完了形の継続用 法を、進行形にできる動詞の場合は進行形を使えば良い。 現在進行形 is (am are) ~ing (~している(ところだ)。) 過去維行形 was ~ing (~していた(ところだった)。)	していざま
を子供の時から知っている。)	
の様にはっきりと過去の時点を示 時制は主幹時制によって決定され、進行形と併用してで使われる完了形の用法は継続用法。ます。それにより、以下の三つの形がある。 るれにより、以下の三つの形がある。 るれにより、以下の三つの形がある。 るれにより、以下の三つの形がある。 るれにより、以下の三つの形がある。 るれにより、以下の三つの形がある。 るれにより、以下の三つの形がある。 るれています。	
現在完了進行形 have[has] been ~ing「ずっと~しているところだ。」sinceやforと併用する場合は現在完了進行形の方が現在進行形より好まれる。しかし、そのようなまで含めると考えるので完了時制われる様です。 poなどが多い)の場合、haveをbe動過去完了進行形 had been ~ing「ずっと~しているところだった。」  現在完了進行形 have[has] been ~ing「ずっと~しているところだ。」sinceやforと併用する場合はまませい。  現在完了進行形 have[has] been ~ing「ずっと~しているところだ。」sinceやforと併用する場合はまませい。  第一般的な話をする場合  It is said that young people should study hard.  若者は一生懸命勉強すべきだと言われている。  http://fromexperience.info/grm/segu109.html a	
The baby had been crying before the mother came.  (その赤ちゃんは、お母さんが来るまで、ずっと泣いていました。) sinceやfor, beforeと併用する場合は現在完了進行形の方が現在進行形より好ま 過去、未来)によって表す。基準時 う時制がある。  「発展」受動態にできる能動態の文型 「受動態は、能動態の目的語を主語にする』を認識しておいて下さい。ですから、第3(SVO)、グ第5(SVOC)の文型が受動態(受け身)にできます。 また、発展ではあるが、時制の一致で過去完了進行形は使われるが、それは後日に まわそう。  「発展」受動態にできる能動態の文型 「受動態は、能動態の目的語を主語にする』を認識しておいて下さい。ですから、第3(SVO)、第5(SVOC)の文型が受動態(受け身)にできます。 はたまれるが、手が見いていました。) 第5 (SVOC)の文型が受動態(受け身)にできます。 はたまれるが、手が見いていました。) 第5 (SVOC)の文型が受動態(できる能動態の文型 「受動態は、能動態の目的語を主語にする』を認識しておいて下さい。ですから、第3(SVO)、第5 (SVOC)の文型が受動態(できる能動態の文型 「受動態は、能動態の目的語を主語にする』を認識しておいて下さい。ですから、第3 (SVOC)の文型が受動態にできる能動態の文型 「受動態は、能動態の目的語を主語にする』を認識しておいて下さい。ですから、第3 (SVOC) の文型が表現しておいて下さい。ですから、第3 (SVOC) の文型が表現しておいて下さい。できる能動態のできままり、第5 (SVOC)の文型が受動態は、能動態の目的語を主語にする』を記述しておいて下さい。できないできる能動態のできます。  「発展」受動態は、能動態の目的語を主語にする』を認識しておいて下さい。できないできるに対していていました。)	
形  未来完了進行形 will have been ~ing 「ずっと~しているでしょう。」 It will have been raining a whole week if it does not stop tomorrow.  (明日雨がやまなければ、まる一週間降り続いたことになる。 完了進行形は難しいですが、sinceやbefore, forなどの時の起点を表す副詞句がない時は、ただの進行形でも間違えとは言えない。  (能動) He gave me the book. [SVOO]] ←第4文型 (受動) (b) The book was given (to) me by him. [SVO] (受動) (b) The book was given (to) me by him. [SVO] (を動) We call him superman. [SVOO] ←第4文型 (受動) He is called superman by us. [SVC]	voかsv]
往来発着を表す動詞の進行形は未来を表す。→come, go, leave, start, arrive, Susan is coming soon(スーザンはすぐに来ます。)  ttp://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question q1326976618 より引用	